

基本情報						
教科・科目		数学・数学C(理系標準)		・授業で使用するもの テキスト、ノート、授業プリント		
担当者		吉川				
評価割合(試験:試験外)		試験:6 試験外:4				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬(知識及び技能)		具体的な事柄や事象についてモデル化する、一般化する、批判的に捉えるなど、事象を数学的に解釈し、数学的に表現、処理する力を培う。また、多様な事象を数学的に表現・処理するために必要な式の計算の仕組みや関数、図形の性質等についての理解を深める。		
		理知(思考力・判断力・表現力等)		直観や論理的な思考をもとに、事象を定義化したり定理を導いたりしながら課題の解決を図るとともに、多様な考え方について論理的整合性について議論し、その正誤について知的なコミュニケーションを通して受け入れることができる。		
		探究・叡智(主体的に学習に取り組む態度)		社会での数学の役割に気づく、数学的な思考のよさを実感することを通して、数学の学習の意義を高めながら、自身で課題設定を行い、主体的に学習する態度を養う。		
学習情報						
月	回	単元名	単元目標(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
45	12	複素数平面	・複素数を視覚的に表現し、加算、減算、回転、拡大などの操作を、平面上の図形的操作として理解することができる。 ・複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察することができる。 ・複素数平面上の3つの点の関係について、複素数に関する等式で言い換えることができる。	・複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を考えた上でそれらを用いた問題に取り組む。 ・ド・モアブルの定理を用いて、高次方程式の複素数解を求める。 ・複素数平面上の円や直線を表す方程式を学び、複素数に関する方程式が表す図形を求める。 ・2つの辺の比や3点のなす角を複素数の絶対値や偏角で表せることなどを発見し、複素数平面上の点の関係を複素数の等式に言い換えて計算する。	・講義 ・演習 ・確認テスト	・課題への取り組み ・小テスト
6	定期試験① 令和7年 6月2日—6月4日					
6	12	入試問題演習 (数学ⅢC)	・取り組んだ問題について、問題の要点に気づき、同様の問題を解けるように復習することができる。	・演習形式およびテスト形式で入試問題に挑む。 ・取り組んだ問題の解説を読み、自身が理解できていなかったことは何なのか、をハッキリさせる。 ・採点者に意図が伝わるように、論理的に飛躍がない記述答案を作成する。	・講義 ・演習 ・確認テスト	・課題への取り組み ・小テスト
7	定期試験② 令和7年 7月9日—7月11日					
8	44	入試問題演習 (数学ⅢC)	・取り組んだ問題について、問題の要点に気づき、同様の問題を解けるように復習することができる。	・演習形式およびテスト形式で入試問題に挑む。 ・取り組んだ問題の解説を読み、自身が理解できていなかったことは何なのか、をハッキリさせる。 ・採点者に意図が伝わるように、論理的に飛躍がない記述答案を作成する。	・講義 ・演習 ・確認テスト	・課題への取り組み ・小テスト